

別紙

イオンリテール株式会社イオン三原店温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

イオン三原店

(2) 事業所の所在地

広島県三原市城町2-13-1

(3) 業種

5611 百貨店・総合スーパー

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成22（2010）年度を基準年度とし、平成24（2012）年度から平成26（2014）年度までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

【イオン環境指針】

私たちは、お客さまへの安全・安心な店舗・商品・サービスの提供を通じて、豊かな暮らしと地球環境保全の両立に取り組めます。取組みの推進にあたっては、環境マネジメントシステムを運用し、定期的な見直しを行い、継続的に改善を進めます。

1. 私たちは、低炭素社会の実現のため、全ての事業活動における温室効果ガスの排出削減に取り組めます。
 - (1) 店舗におけるエネルギー効率を継続的に改善します。
 - (2) 商品のサプライチェーン全体で削減に取り組めます。
2. 私たちは、事業活動を通じた生態系への影響と恩恵を把握し、保全活動を推進します。
 - (1) 持続可能性に配慮し資源管理された商品開発・調達に取り組めます。
 - (2) 商品のサプライチェーン全体で削減に取り組めます。
3. 私たちは、持続可能な資源利用のために省資源、資源循環に取り組めます。
 - (1) 資源のリデュース・リユース・リサイクルを推進します。
 - (2) 環境負荷の少ない原料・資材等を選択するよう努めます。
4. 私たちは、環境側面に関わる法規制等を順守し、汚染の予防に努めます。また、本指針に従業員および当社の事業活動を支えるすべての人々に周知するとともに、広く公開します。
5. 私たちは、お客さまをはじめとする多くの方々とパートナーシップを築き、取組みの輪を広げていきます。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素	燃料の使用	—	35	28
	他人から供給された熱の使用	—		
	他人から供給された電気の使用	—	3498	3190
合 計		—	3533	3218

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素				
合 計		—	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成22年度	直近年度 平成23年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC PFC SF ₆				
合 計		—	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)		削減目標		目標年度 (平成26年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂	3533	10.0	354	3180		
非エネルギー起源CO ₂						
メタン						
一酸化二窒素						
フロン類						
温室効果ガス 実排出量総計	3533	10.0	354	3180		
温室効果ガス みなし排出量						
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は、排出量年3.3%の削減率					

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成22年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成26年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方							

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の使用量を10%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 売場照明の管球間引き ・ 照明のLED化 ・ 商品ごとに「温度設定ガイドライン」を設け冷ケースの管理を実施 ・ 空調の温度・風量管理の実施 ・ 食品冷凍室外機に散水装置の導入 ・ ISO 取組による従業員への省エネ教育の推進
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

弊社は ISO14001 を取得しており、その推進体制に基づき環境負荷の軽減に取り組んでおります。各店舗においては店長を ISO 推進責任者、人事総務課長を ISO 推進担当者として、電気使用量・資材使用量等の削減に取り組んでいます。

(2) 実施状況の点検・評価

総務部が中心となり毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、I S O責任者会議において定期的に評価・見直し等を行い、継続的な改善を図る。

また、毎年度取組状況、点検・評価内容については、計画書とともに公表する。

(3) 計画書等の公表

事業所にて一般の閲覧に供する。